

奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、試料・情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

① 研究課題名	脾腫を呈する患者における Dixon-MRI を用いた骨髄評価：自己免疫疾患や血液疾患の指標となるか			
② 研究期間	学長許可日から 2021年03月31日			
③ 対象患者	対象期間中に当院で腹部MRIを撮影した患者さん			
④ 対象期間	2016年01月01日から2020年03月31日			
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学放射線医学講座			
⑥ 研究責任者	氏名	立元 将太	所属	放射線医学
⑦ 使用する試料・情報等	①臨床所見（年齢、性別、身長、体重、既往歴） ②血液所見（MRI撮像時に最も近い日のWBC、Hb、Plt） ③MRI所見（脾臓体積、骨髄の脂肪割合）			
⑧ 研究の概要	<p>【研究の背景、目的】 脾臓が大きくなっている症例の中には、潜在性に進行する自己免疫疾患や血液疾患が隠れていることがあります。今回の研究では磁気共鳴画像(MRI)を用いて脾臓と同時に骨髄を分析し、自己免疫疾患や血液疾患の早期診断に貢献しようとする研究です。</p> <p>【研究方法】 以下の手順で解析を行います。</p> <p>① 腹部MRIを撮像している全症例で脾臓の体積を計測し、脾臓が大きくなっている症例を抽出します。</p> <p>② 脾臓が大きくなっている症例の背景疾患を確認し、自己免疫疾患や血液疾患を有する群と背景疾患のない群に分けます。</p> <p>③ 2群間でMRIを用いて、骨髄の活動性（骨髄内の脂肪の割合）に差があるかを検討します。</p>			
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	年 月 日		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できま			

	<p>す。 詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡ください。</p>			
⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。			
⑫ 個人情報の取扱い	<p>カルテ ID や氏名などの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。</p> <p>研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。</p>			
⑬ 問い合わせ先・相談窓口	奈良県立医科大学附属病院 放射線・核医学科 担当者：立元 将太			
	電話	0744-22-3051（内線：3467）	FAX	0744-22-4121
	Mail	statsumoto@naramed-u.ac.jp		